1 2 月報(2021年) 萌 カトリック福山教会





福山教会活動テーマ:

「喜びをもっていのちをもたらす福音を社会に伝えよう」

〒720-0808 福山市昭和町7-26

T [084] 923-0614 FAX [084] 923-0615

e-mail: fuku-ch@ktd.biglobe.ne.jp

「ニワカ」と「古参」、「クリスマス」と「御降誕」

主任司祭 猪口大記

もう既に十分人口に膾炙し、その使用が定着したと思われるのですが、「ニワカ」という言葉があります。元々、漫画やアニメ、アイドルといった以前はサブカルチャーとされた分野を中心に用いられ、「俄かに」つまり「突然に」・「急に」ファンとなりそう公言する人を、「古参」のファンが否定的に名指す言葉です。

ところで、巷にはクリスマスソングが 流れ、世の中冬のボーナスをあてこん でのクリスマス商戦真っただ中です。こ ういったいわゆる「クリスマス・シーズン」 の様相を嫌う司祭や信徒の人もいて、 時折、「世の中のクリスマスの祝い方 は間違っている」とか「本当のクリスマス の意味は○○だ!」と熱〈語られる方も おられますが、まあ、日本では小さな群 れである教会が目くじら立ててもどうにも なりませんし、御降誕を契機に人々の 間に暖かな体験が生まれるなら、別に 何も悪いことはないでしょう、というような ことを昨年まじめに書きました。今年は 同じことを書くわけにはいきませんし、余 りまじめに書かないように言われましたの で何を書こうか悩んでいたのですが、このクリスマス・シーズンに関して時折聞かれる話、「ニワカ」と「古参」の関係と似ていると書いておこうと思います。

サブカルチャーの世界では、「ニッチ」なもの「マニアック」なものがよく尊ばれます。むしろ語義的にそういった主流(メイン)であったり、大衆的(ポップ)であったり、しないものを指して分類しているのでも見したするが、「世に知られるが、有名はコミットしていた」古参が、有名がいたファンを会言するしたがあるわけです。よく分かりませんが、世に知られメインでポップなもせんが、世に知られメインでポップなものではなくなったという喪失感があるのかも知れません。

さて、世の「クリスマスの祝い方」に 文句を言うのも、形式上はよく似ていま す。世に知られざる特別な方に、人生 を賭けるまでコミットしている自分たちの 伝統に対し、俄かな者たちが理解して いないと見ているわけです。時に「文化の収奪」としてマイノリティである自分たちの信仰に属するものが奪われ、宗教的な心情が傷つけられたと感じているのかも知れません。

これが似ているだけであれば、単に面白いだけでしょうが、どうにも気になって仕方がないことがあります。ニッチな分野では「古参」の人々が「ニワカ」と新参者を名指して、彼らのファンとしての表現に対し「分かっていない」と否定的態度をとったり、自分たちのコミュニティに受け入れなかったりすることで、新しいファン層が形成されず商業的に成立しなくなり消滅するなどという事例もあるそうです。

教会は日本では少なくとも主流では ありませんし、人口比で言えば少数の 人々のみがコミットしたものでさえありま す。もし教会とその信仰が「古参」の人 にとってニッチなもの、マニアックなもの と認識され、そのような閉鎖的なコミュ ニティを築くなら似たような状況になるの かも知れません。もちろん、教会は人間 の組織としてみれば信仰に基づく共同 体であって、決して営利企業ではありま せんし、経済的に成立するかどうかは 重要ではありませんから、その存続につ いて心配する必要は皆無です。そこに 何も不安はありません。しかし教会とそ の信仰とは公のものであり、多くの人に 開かれているものであることは間違いな 〈、教会の使命の第一は「福音宣教」 ですから、ニッチでマニアックな領域に 安住することは、この最も根本的な部 分で誤ることとなります。

さて、御降誕の本来の意味は、他で もなく「みことばが人となりわたしたちの内 に宿られた」受肉の神秘です。神なる 父は旧約時代に預言者たちを幾度も 使わし、その言葉を伝えましたが、それ では足らないからこそ、最後には最愛 の子イエス・キリストをお遣わしになりまし た。だから「言葉は人となった」というの です。神が人となられたのは、三人の 博士の贈り物に象徴されるように、人の 救いのために十字架の死に至るまで 自分を低くされるためでした。御降誕は 「自らの全てを与える」ことであり、それは 十字架上で全てを剥ぎ取られたキリスト の姿に結実します。この「与える」ことは、 単に自分が望む時に望む物を与えるこ とではなく、下に着るものを奪おうとする 者に防寒のために重要な上着まで与 えるような「与える」です。

世の人々が、わたしたちから奪うならさらに与えよと言われているのです。町中を歩けば十字架を見ない日はなく、極少数のマイリティ中のマイリティであるわたしたちから奪われているものはたくさんあるかも知れませんが、ここでさらにクリスマス自体を、教会自体を、そして自分の信仰自体を人々に与えてみてはいかがでしょうか。きっと、キリストご自身も人々に与えられるはずです。

クリスマスを通して連帯

ダン神父



悲しみと希望。 これらは、コロナ禍の真っ只中にある 2021 年のクリスマス の私の最近の思いです。 年末は、苦しんでいる人々を助けるために非常に多く の人々への関わりを求められています。

2021 年のクリスマスは、コロナ禍のために特別なクリスマスになります。 このような苦しみの中で、イエスの誕生は、この傷ついた人類に、これまで以 上に希望のメッセージを必要とします…おそらく最初のクリスマス、イエス・

キリストが生まれたとき、状況は理想的ではなかったと言えます。ユダヤは非常に困難な生活環境にあり、その中で神の御子が生まれました。

今年の悩みや苦しみは、クリスマスのメッセージに焦点化することに役立つと思います。それは何ですか? 私たちのところに来るのは神です。 私たちは決して一人ではありません。 エマニュエルとは私たちと共にいる神の意味です。そのことは投資、成果、贈り物、私たちのお金…それらすべてが共にいる神とは比べものになりません。 しかし、私たちの仲間の一人として来るイエス、私たちと共にいる神は、永遠に私たちと一緒にいます。それが私たちの希望です。

あなたは個人的にコロナウイルスに感染した人々に何を言いますか?まず第一に、彼らには私達の中に仲間がいることを伝えたいと思います。 彼らは内面の混乱、苦悶、恐れの中にいるかも知れません。私たちが今できる良いこと、小さな行為を延ばさないようにしましょう。単純な親切な行ない、小さな正義の実行、ちょっとした電話、笑顔、思い出などです。

教皇フランシスコは今年何度も、コロナ禍は誰も一人で救われることができないことを証明していると言いました。 聖なる御父のこれらの言葉を証しするために、信者は具体的に何ができるでしょうか。たくさんあります。今年、パンデミックの 2021 年のクリスマスは連帯を呼びかけています。自分のためにお金を貯める代わりに、友が誰もいない隣人のためにお金を貯めませんか?自分と家族だけでごちそうを食べる代わりに、誰かのためにも食べ物を用意しませんか?「私には兄弟がいる、私には姉妹がいる、私には友達がいる」ということを人々が知るために、多くの方法があります。

2021年は終わりに近づいています。 苦しみの年でした。 新年の願いは何ですか?

新年を明るくする力、希望、信仰、喜びを人々に持っていただきたいと思います。多分世界は 急激には変わらないでしょう。しかし、私たちは見通しを変えることができ、それは新年を明る くするでしょう。私たちの希望、連帯、私たちの喜びによって。クリスマスおめでとうございま す!

A Christmas of Hope

Sorrow and hope. These are the feelings that characterize these days leading to Christmas 2021 amidst the pandemic. The year that is coming to an end has been marked by suffering but also by the commitment of so many people to help those who are suffering.

Christmas of 2021 will be a very particular Christmas because of the pandemic. Amidst all this suffering, the birth of Jesus brings this wounded humanity a message of hope that is needed more than ever...

Yes, and I think we should also remember that probably the original Christmas, when

Christ was born, the situation was not ideal. Israel was under some very difficult conditions of life, and in that midst, the Son of God was born.

I think the problems and the sufferings of this year will even help us focus on the message of hope and Christmas. What is it? It is God who comes to us. We will never be alone. Emmanuel: God with us. And other things that are with us will disappear: the investments, the achievements, the gifts, our money... will all disappear. All these things that we have associated with Christmas may disappear. But Jesus who comes as one of us, God with us, will remain with us forever. So that is our hope.

You were personally infected with Covid. What would you say to those who discover that they are positive and experience this condition of fear and uncertainty?

First of all, I want to tell them that they have a brother in me. Someone who knows specially the internal turmoil, the anguish, the fear. I would like to tell them, and all those who will be listening, that we could be surprised by something like this: you don't expect it. So as the Gospel says: you do not know when it is coming, when the Lord will come, so be prepared.

So I hope we, all of us, could live every moment, every day of our lives, at peace with God, at peace with our neighbors. Let us not postpone the good things that we could do now, little acts: a simple act of kindness, a little act of justice, a simple phone call, a smile, a remembrance because you might not have another chance to do it.

Pope Francis has said many times this year that the pandemic proves that no one can be saved alone. What can Christians do, concretely, to give witness to these words of the Holy Father?

There are a lot of things. I always remember how creative Christians of different places and of different generations are in celebrating Christmas. You go from country to country and you see the creativity of Christians.

This year, Christmas 2021 in the pandemic is calling for solidarity. I hope we will be creative, that we will be able to find ways, specially in reminding our brothers and sisters that they have a friend that they can count on. Maybe, instead of saving money for myself, why don't I save money for my neighbor who has none? Instead of having a feast for myself and my family alone, why can I not order food also for someone? There are many, many ways, so that people will know "I have a brother, I have a sister, I have a friend."

2021 is coming to an end. It has been a year of suffering. What is your wish for the new year?

I wish that people will have the strength, the hope, the faith and the joy to make the new year brighter. We cannot wait for outside factors to change. Maybe they will not change. But we can change our outlook and that will make the new year brighter: our hope, our solidarity, our joy.

「お知らせ 一世界シノドスに向けての意見聴き取りについて一」 池田春子



2023 年 10 月に開かれる世界シノドス (※世界代表司教会議) 第 16 回 通常総会に向けて、全世界の教区で準備が始まっています。教皇は、全世 界の教区に問いを投げかけ、小教区や修道会・諸団体からの答えを聴き 取るよう求めています。

日本でも、各教区で、小教区や修道会などの声・意見を 2022 年 1 月末 までに聴き取ってまとめます。日本の司教協議会に送られたそれら全国

の声・意見を、司教たちが3月の臨時総会で集約し、その後、より広い地域や大陸ごとに、各国の声・意見をまとめる作業が2023年3月までに行われ、同年10月にバチカンでの総会へと進む、という流れです。

ついては、広島教区から福山教会にも「世界シノドスのためのお願いと質問表」が届いており、責任チームを中心に意見をまとめる予定でおります。教会の動きとして、皆様もお知りおきください。

※シノドスとは「共に歩む」という意味のギリシア語で、司教たちの集会のこと。信仰及び倫理の擁護と向上、規律の遵守と強化のための助言をし、教皇を補佐するために開かれる。(詳しくはカトリック中央協議会のホームページをご覧ください。)

三宅神父さま、初ミサのお恵み、ありがとうございました!



11/20(土)21(日)と3月に司祭叙階されたばかりの三宅仁孝(まさのり)神父さまが来福され、初ミサがありました。21(日)9:00ミサ後、三宅新司祭の歓迎とお祝いの集いがありました。

【三宅神父さまへの歓迎のご挨拶】

三宅神父さまに歓迎のご挨拶いたします。私は、神父さまに「おめでとう!」と「ありがとう!」の言葉を贈りたいと思います。コ

ロナ禍の中、3月の司教座幟町教会での叙階式には参加できませんでした。改めて、福山教会の皆さんと共に、声を合わせて、「司祭叙階、おめでとうございます!」そして、昨日今日と福山教会での「初ミサのお恵みを、ありがとうございます!」 かつて、主任司祭として福山に在任された服部神父さまが私はいつまでたっても、どこへ行っても、「新司祭」「若い司祭」という言葉が付きまとうとこぼされていました。広島教区には十数年新司祭の誕生がなかった事を思えば、とても大きな恵みです。2014年の猪口神父、2018年の大西勇史(おおにしゆうじ)神父、2020年久保裕己(くぼゆうき)神父に続く新司祭誕生でした。(恵みの広島教区。平均年齢が少し下がった司祭団。)

簡単に神父さまのプロフィールをご紹介させていただきます。

【パウロ三宅仁孝(まさのり)新司祭のプロフィール】

- 1985年1月23日生まれ、倉敷教会の出身。(36歳)
- 2020年3月1日、倉敷教会で助祭叙階。

・8 年間の修練ののち、2021 年 3 月 20 日(土) 13:00~15:15、広島世界平和記念聖堂で、アレキシオ白浜満司教の司式により使徒ヨハネ朴根培(ぱくくんべ) 助祭と共に叙階された。その際、福山教会から、カリスを叙階記念として贈る。(御礼あり:月報)



• 現在 幟町教会 主任司祭荻神父の下で、助任司祭。

もう少し、時間をいただいて神父さまを深掘りしたいと思います。〇×形式のクイズにお答えください。皆さんもご質問があれば、宜しくお願いします。

第1問:自分の名前を「まさのり」とはなかなか読んでもらえない。仁孝(まさのり)〇

第2問:神学校でのお勉強は、教会法よりも聖書学が好きだった。〇×

第3問:私は、甘辛両党遣い(お菓子も好き、お酒も好き)である。× 体質的に酒はダメ

第4問:読書や映画鑑賞するより、スポーツやキャンプ・登山等のアウトドア派である。OX

最後に、神さまの召命に応える事は、簡単な事ではないと思います。その召命を支え、導いて

くださった神父さまの(亡くなった)お父さんやお母さんにご家族の皆さまに、「あ

りがとうございます!」と感謝したいです。





11/14 七五三の祝福がありました!









神様の豊かなお恵みと共に、この福山共同体の中で健やかに育っていきますように…

11/21 洗礼式がありました。おめでとう



ヤコブ使徒 千種晃央(あきひろ)君 NGUYEN HOANG ANH KHOI(グエン ホアン アン コイ) 君





【シリーズ6:教区代表者会議】

11/23(火)教区代表者会議がオンラインで行われました。





ユーチューブチャンネル #2020 教区代表者会議を知 る

- ① 問1:なぜ、教区代表者会 議を招集するのか?
- ② (約7分)等を参考にご 覧になる事をお勧めします。

教区代表者会議に参加して

野田 茂生

私が参加した「多文化共生」の分科会では、最初に岡山教区・赤磐農園の取り組みが紹介された。岡山市郊外にある同農園は、ロイ神父の指導の下、おおぜいのベトナム人信徒が集い働いている。映像に示された彼らの笑顔からは、同胞とともに汗を流し食事しそして祈るという歓びに溢れ、ひとつの理想郷の具現のように見えた。それは、素晴らしい取り組みで賞賛されるべきものだ。弾けるような笑顔の列の中に、しかしながら、日本人の姿がひとつも無いのが気になった。図らずも、その疑念はこの分科会総体に関わる根本的な課題となっていたことが、その後の討論で明らかになったように思う。

参加者の多い「多文化共生」分科会では、その後、7、8人のいくつかの小グループに分かれた。私は、福山教会での取り組み、すなわち、労働・就労・生活、日本語教室などの諸問題、を紹介させていただいた。参加者の意識・取り組みには温度差があり、多少議論が噛み合わないと感じたところもあったが、各小教区の共通の悩み・課題も浮かび上がった。それは、外国人コミュニティがしっかりとした基盤を持っている教会に、日本人信徒が関わりをもっていくことの困難さだ。福山教会でも、ベトナム語や英語ミサ等で集う外国人信徒の表情はいきいきとして活気がある。彼らが抱える生活や労働の問題のいくばくかは、その中で解決も出来ているのかもしれない。しかし、それは教会の中に、いくつもの教会が並立している状態と言えないか。私たちの教会は、特定の民族によって構成されるものでなく、信仰を同じくするすべての人々によって、分かちあわれるものでなければならない。そして信者と信者の関係も、基本的に一対一でなければならない、と私は考える。外国人がなかなか打ち明けられない、仕事や賃金の問題、言葉の問題、生活、諸手続き、育児の問題、これらは、一対一の信頼関係が前提になる。「何かあったら言って」みたいな関わり方では、何かあっても何も相談されることはない。マスな関係性から生まれてくるものは、美しい見栄えはあるかもしれないが、底の浅いものだ。

日曜日の9時のミサでは、ベトナム人信徒が席の後方にぽつぽつと座っている。ある日、その中のひとりを誘って前の方に席を取った。ミサ後に少し話した。技能実習生で職場にはカトリック信者は他にいない。日曜日に13kmの道のりを自転車をこいで教会にやってくる。そして、またひとり来た道を帰る…。どうやら、教会で日本人と話したのは、これが初めてのことだったようだ。

教区代表者会議「協働」を終えて! 担当:藤井幸恵

今回は、新しい ZOOM と云う形態を使って参加者 150 名、全過程 6 時間と云う長丁場でしたが無事終了することが出来ました。

教区創立百周年の総決算とこれからの教会の展望を5分科会(福音宣教・平和・多文化共生・協働・養成)に別れて話し合いました。その中で私は協働に出席いたしました。協働では、提言をベースに「様々な課題を共有し、共に考え、助け合い一緒に乗り越えよう。互いの違いを受け入れ、互いの思いを伝え合い協働しよう」を基に各教会代表の方々と分かち合いをしました。

- ・教会の少子高齢化
- ・外国人との関係
- ・災害時での教会の働き方助け合い
- ・各地区間での関係性の構築を密に
- 財務問題

この問題は、現実的な問題で皆一様に関心を持っておられ、本当に大切な事なので財務だけの集まりを持ち、問題点を話し合い、教区間の認識をお互い共有していくべきでは?

いろいろな各教会での取り組み等を共有できたのは良かったと思っています。又、各教会がかかえている問題点も見えてきてそういう点では良い分かち合いだったと思っています。

教会はきっと良い方向に舵を取っていけると信じています。

南相馬便り392021年11月

援助マリア会南相馬修道院 Sr.北村令子

新型コロナ感染症の終息に希望の光が見えてきました。長い長い歩みでした。この世界的災害を通して人類は何か新しい生き方を見つけたのでしょうか?人と自然界を今まで以上に大切にする心が沸き上がってきたのでしょうか?相変わらず人間と大自然を搾取する経済優先の生き方を推し進めるのでしょうか?

先月のトリチウム汚染水の続きをまとめておきます。

政府はトリチウム汚染水の海洋放出のために再燃する風評被害について、8月20日「風評被害タスクフォース」の会合で施策パッケージを示した。

- ①正確な情報発信
- ②地元の思いを受けた取り組み
- ③海外への戦略的働きかけ
- ④国内外の状況の継続的な把握による効果的な対応

これに対し、福島県 鈴木副知事は、風評対策の各施策に一定の評価は示したが、「風評を出さないという取り組みでなく、風評が発生することを前提とした処理水の放出決定がそもそも間違いである。」と述べた。(2021年8月21日福島民報)

処理水についてまとめておきます。

東京電力福島第一原子力発電所の敷地に、タンクに 1040 基超 (123 万トン) ある。デブリの冷却のために注水した水がデブリに触れて、放射性セシウム、トリチウムなど 64 種類の放射性物質を含んだ汚染水となる。吸着装置でセシウム、ストロンチウムなど除去して再度注水する。循

環なので水は増えないはずだが、地下水、雨水が流れ込んで増え続ける。タンクにためる水は 多核種除去設備で 62 種類の放射性物質を取り除くが、トリチウムは除去できず高濃度で残る。 炭素 14 が排水法令基準値より低い濃度で含まれている。

私にはまだよく解らないのですが、科学者が知恵を絞って、よい解決方法を見つけるまで保 管する方法も考えられないかと浅知恵で考えています。



と、今まであったものも、少しずつ新しいものが加わっています。小高一味(赤、黄、緑の蓋) 更に注文を受けて作る、超激辛一味。(命の保証は致しません!)と注意書きがあります。じみ ~に辛い『うまくて生姜ねえ』、一味も辛油も蕎麦用が新しく作られています。「担々焼き豚」 など人気です。今一番新しいのは(新しいと言ってもだいぶ前に発売されています)小高ビー フカレー(大蛇もびっくりするほど辛い)、市販のものより少し辛めものと、激辛とがあります。 本当においしいです!普通のレトルトカレーは、お肉がどこにあるのか、野菜はドロドロにつ ぶれてしまって形がありませんが、ここのは違います。お肉がゴッロゴロと、ジャガイモ、ニ ンジンも大きな形で入っています。リピータが多く、他ではこの辛さのものは買えないからと、1週間に一度は食べたいと求められる方があります。小高工房で手作りされた唐辛子が使われています。そして廣畑さんの頭の中には、まだまだ新しい商品開発のアイディアが渦巻いているようです。楽しみにしていてください。

9月10日に唐辛子の収穫に行きました。

小高い丘の上に小高産業技術高校があり、そのまた上の方に、小高工房が借りている唐辛子畑があります。私は初めて畑からの収穫です。

修道院でもプランター2 つに 6 本の唐辛子を植えて育てました。小高工房の製品の中に入っているはずです。去年と一昨年は小高工房に納めるほどできませんでしたが、今年は割合によくできて 3 回にわたって納めました。修道院の唐辛子はちょっと小さめで、この畑の唐辛子の 3 分の 1 くらいの大きさでしたが、廣畑さんから今年のは良くできているよと、おほめのことばをいただきました。写真を撮らなったのが残念です。そこで私は、うちのプランターで獲れた唐辛子が小さいので、本当に辛いのか??と、割って、赤い皮の部分を食べてみました。ウンウンちょっとピリ辛だ!種もなめてみました、ウッ結構辛いね!次に種のついている綿のような部分もほんのチョロッと舐めました。ヒリヒリして、小さくても大丈夫!!唐辛子だ!!それで済めばよかったのですが、そのまま車に乗って、原町に出かけ、途中でその手で目じりや鼻をこすったものだから、もちろん唇や口内はヒリヒリするのは当たり前ですが、目じりや鼻が1時間ほどヒリヒリしてみんなに笑われました。これがあの小高一味の蓋の色分けの秘密です。信号機とさかさまで、赤い皮の部分を粉にした赤い蓋の一味が、一番辛さが優しく、甘みさえ感じます。黄色い蓋は種の部分を粉にしたもので、二番目に辛い物。緑の蓋の一味は、種のついている胎座(綿のようなところ)で一番辛い物で、少ししか作れないので値段は高いです。なんだかお笑い種ですが・・・

今日はここまでといたします。寒さに向かいますので、皆様お元気でお過ごしください。

【帰天のお知らせ】

11月18日 パウロ西原寛(85歳) 檀上小百合さんのお父様 謹んでお知らせします。どうぞ心を合わせてお祈りください。

つきましては教会で葬儀を希望される場合、

特に<u>遺されるご家族が未信者の場合など身内の方に教会での葬儀の希望を伝えておいてください</u>。時々亡くなった方はカトリック信者なのに<u>そのことが伝わっていなくて</u>、仏教やそのほかの宗教の葬儀となる場合があります。もしカトリック教会の葬儀についてお聞きになりたいことがあれば、遠慮なく神父様か事務室にお尋ねください。

12・1月の行事予定

12 月		1 月	
8(水)	無原罪の聖マリア	1(土)	神の母聖マリア
12(日)	待降節黙想会 大阪パウロ書院	2(日)	主の公現
24(金)	クリスマスイブのミサ	8(土)	備後三教会合同幹事会
25(土)	主の降誕	9(日)	成人のお祝い 広島地区宣教司牧評議会
26(日)	聖家族	16(日)	トマス小崎巡礼 キリスト教一致集会
31(金)	聖時間		

今年もポインセチアの赤が美しい待降節を迎えました。年末の慌ただしさについつい気持ちも焦りがちですが、時には心を静かにして、この一年を顧みる時間を持てるとよいですね。 神様の大きな御手に包まれていることを忘れずに…。世界中にクリスマスのお恵みがあふれることをお祈りします。 月報委員会